

2017 年度前期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント  
—社会イノベーション研究科—

社会イノベーション研究科長 古川 良治

大学院の授業については、全 14 項目のうち 13 項目において、5 点満点で平均が 4.50 を超えており、概ね良好な評価が得られていた。最も評価が高かったのは「授業への教員の熱意を感じた」(4.96)であり、「教員は授業時間を有効に利用した」(4.95)、「教員の話し方は明瞭であった」(4.93)、「総合的にこの授業を評価できる」(4.93)、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」(4.91)という回答が僅差で続いている。

また、「総合的にこの授業を評価できる」と他の項目の相関係数については、「授業への教員の熱意を感じた」(0.80)が最も高く、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」(0.72)、「教員の話し方は明瞭であった」(0.66)、「シラバスと内容が一致していた」(0.60)、「この分野の関心と学力が得られた」(0.58)が比較的高い値で続いていた。ここに列挙した項目は授業の総合的評価に影響を与えるものであり、こういった点に留意しつつ授業を行うことにより、一層充実した授業を行っていくことが望まれる。